

京都大学	博士（社会健康医学）	氏名	竹之内沙弥香
論文題目	Evaluation of the End-of-Life Nursing Education Consortium-Japan Faculty Development Program: Validity and Reliability of the 'End-of-Life Nursing Education Questionnaire' (End-of-Life Nursing Education Consortium-Japan 指導者養成プログラムの評価：看護師に対するエンド・オブ・ライフ・ケアの教育に関する指導者講習会を評価する尺度の妥当性と信頼性の検討)		
(論文内容の要旨)			
【背景】 我が国では、様々な機関でエンド・オブ・ライフ・ケア（以下 EOL ケア）や緩和ケアについての看護師教育が行われてきていたが、その内容や質は多様であった。そこで、系統的・包括的な教育を展開するために、2000年に米国のアメリカ看護大学協会（American Association of Colleges of Nursing: AACN）と City of Hope National Medical Center の協働により設立された End-of-Life Nursing Education Consortium (ELNEC) の教育プログラムの導入に意義があると考え、2007年度より厚生労働科研や日本緩和医療学会で ELNEC のコアカリキュラムを用いた指導者教育プログラム開発と普及の取り組みを開始した。 その結果として、効果的な教育能力を習得した指導者の育成により、日本で EOL ケアや緩和ケアに携わるすべての看護師が質の高いケアを提供できることを目標に、ELNEC カリキュラムの日本版である、End-of-Life Nursing Education Consortium-Japan (ELNEC-J) コアカリキュラム指導者養成プログラムが開発された。2011年7月現在までに、日本全国に約420名の ELNEC-J 指導者(ELNEC-J が提供する教材を活用して、EOL ケアや緩和ケアに関する看護教育を実践できる者) が誕生している。また、ELNEC-J 指導者が一般看護師を対象に開催する教育プログラムである、ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラムは、2010年度より全国の施設や地域において開始されている。			
【目的】 看護師に対する EOL ケアの教育に関する指導者講習会を評価する尺度 (End-of-Life Nursing Education Questionnaire: ELNEQ) を開発し、その信頼性と妥当性を検討するとともに、ELNEC-J コアカリキュラム指導者養成プログラムを評価する。			
【方法】 2008年6月から1年間の尺度開発期間を経て、2009年7月から11月までに2回開催された、ELNEC-J コアカリキュラム指導者養成プログラムに参加した143名の看護師を対象として、プログラム3週間前、プログラム開始時と終了直後に質問紙調査を実施し、評価尺度の信頼性・妥当性を検証した。本研究は臨床研究に関する倫理指針に沿って実施され、京都大学の医の倫理委員会の承認のもと実施した。			
【結果】			

回答者数は 141 名（99%）であった。計量心理学的な検討を経て、「教育に対する自信」、「教育への意欲」、「教育実践の心構え」、「質の高い EOL ケアの達成の意欲」、「教育の対象者に及ぼす影響」の、5 つのドメインからなる計 20 項目の尺度が開発された。内的整合性や test-retest 信頼性は高く ($\alpha=0.84-0.97$, ICC=0.63-0.76)、講習会前後を比較した感度は有意であった。

【結論】

看護師に対する EOL ケアの教育に関する指導者講習会の評価において、高い信頼性と妥当性を持つ尺度である ELNEQ が開発された。また同時に、本研究により、ELNEC-J コアカリキュラム指導者養成プログラムは看護教育者に教育を実践する自信を与え、卒前・卒後看護教育実践の準備を支援するだけでなく、施設や地域における質の高い EOL ケアの達成をめざしてチームを統率するために必要な土台を築くことを促す、効果的な指導者講習会であることが明らかになった。

(論文審査の結果の要旨)

申請者は、看護師に対する EOL ケアの教育に関する指導者講習会を評価する尺度である、ELNEQ を世界に先駆けて独自に開発した。その研究において、ELNEQ の信頼性・妥当性を検討すると共に、申請者が日本の医療の現状や文化背景に考慮して開発した、ELNEC-J コアカリキュラム指導者養成プログラムを評価した。

研究の結果、ELNEQ は概念構築から計量心理学的な評価に至るまで十分な検討を経て開発され、高い信頼性と妥当性を持つ尺度であることが検証された。また、ELNEQ を用いた評価により、申請者が開発した ELNEC-J コアカリキュラム指導者養成プログラムは、我が国の看護師を対象とした卒前・卒後教育に携わる看護教育者に、適切な教育を実践する準備を促し、EOL ケアや緩和ケアに関する効果的な教育を実践する自信を与えることが明らかになった。さらに、ELNEC-J コアカリキュラム指導者養成プログラムは、質の高い EOL ケアの達成をめざすリーダーの育成を促す指導者講習会であることも証明された。現在全国に 400 名を超えるプログラム修了者は、各地域において、一般看護師を対象に EOL ケアに関する教育を積極的に普及していることが報告されている。

以上の研究は、我が国の看護師を対象とした EOL ケアの教育に関する指導者講習会の評価法の解明に貢献し、看護師を対象とした EOL ケアや緩和ケアの教育の質向上に寄与するところが多い。

したがって、本論文は博士（社会健康医学）の学位論文として価値あるものと認める。

なお、本学位授与申請者は、平成23年10月13日実施の論文内容とそれに関連した研究分野並びに学識確認のための試問を受け、合格と認められたものである。

要旨公開可能日： 年 月 日以降